

### 問 世界水準のまちづくりビジョンとは

答 立地適正化計画を樹立していきたい



丸山勇太郎 議員

「世界水準にするためのまちづくりの具体的ビジョン」

問 村長が日頃発言する世界水準の滞在型山岳リゾートにするための行政の役割とビジョン、この村の足りないところ、その不備・不足を補うために行政が果たすべき施策は何か。

答 リゾート地と観光地は明確に違う。リゾート地は理想的なライフスタイルを提供できるエリア。心地よさと賑わいをもたらす空間。本村は、建物などの全体的佇まい、耕作放棄地の存在など、世界水準までのハードルは高く、行政の意識も不足している。

世界水準に一気に引き上げ

られないが、取り掛かれるところから取り掛かり、常に世界を意識した施策の継続が大事。様々な意見を聞き賑わいあるまちづくりをしたい。

問 村内のどこをどのように誘導すればいいと考えるか。

答 まちづくりのグラウンドデザインと言える「立地適正化計画」を策定し、誘導区域にまちづくりを進める。

問 駅前からの県道白馬岳線沿いにはアウトドアショップが相次いで進出した。この沿線とオリンピック道路の一部は、賑やかな国際水準の街並みに誘導していいほしい。そのため「みみずくの森・第4駐車場」での事業に、まちづくりの観点で村が関わる考えは。

答 藤本副村長 アウトドアストリートの新たな要素の一つとして、みみずくの森に民間主導で商業施設がつけられる。地方創生交付金は、そのトータルコンセプトに共感して村として支援するもの。それに併せてま

ちづくりを進めたい。

問 環境審議会答申にあった3000㎡未満の開発へのルールづくりは。

答 景観計画策定に合わせて、建築業組合や専門家などから意見を聞き基準は定めたい。

### 問 新図書館用地はどのように見出すのか

答 基本構想を策定しつつ併せて検討する

「公共施設管理計画の進捗、公有財産の処分と確保」

問 平成29年3月策定の公共施設管理計画の進捗を伺う。教員住宅など老朽化した箱物施設は解体撤去し、跡地を利用又は売却すべきでは。

答 個別施設計画を策定している最中。有利な起債もあり解体撤去していく場合もそれを利用したい。個々指摘の不建物についてはそれぞれ検討している。

問 村にグラウンドデザインがないことは自明な中で、広大な用地を必要とする新図書館複合施設の用地は今後どのように見出すのか。

答 ワークショップ・有識者会議を通じて基本構想を策定する。図書館としての目的を勘案し、その方向性に合うよう場所と用地についても併せて検討する。

問 ワークショップで理想を語らせるほど、それを実現させるための場所は難しくなる。場所を想定させて検討すべきでは。

答 今は意見集約の段階。大掛かりたい。



国際水準に相応しい賑わいのまちづくりを期待する県道白馬岳線沿い右手側木立の中のグラウンドと森に、公費も投入する民間商業施設が計画される。